

富浦地区学校再編検討委員会における検討状況

1 教育委員会が中学校再編を推進する理由

生徒数が減少していることから、富浦中学校と富山中中学校との再編を検討するため委員会を設置し、検討をお願いしています。

学校を統合する理由として、以下の内容を説明してきました。

- ・生徒が集団の中で培われる資質や能力を伸ばしていくことができる。
- ・複数クラスの編制ができ、クラス同士が切磋琢磨する教育活動や、クラス替えが可能となる。
- ・学級数が増えると教員の配置数が増え、より良い教育環境を提供できるようになる。
- ・富浦地区及び富山地区のどちらからでも、30分程度でスクールバス通学が可能。
- ・三芳地区については、計画範囲が広範囲となることや人数の見通しから、今回の再編では除いて検討を行いたい。

2 会議等開催状況

【令和5年度】

第1回会議（R5.11.10）南房総市役所大会議室

地区学校再編検討委員会設置要綱、南房総市内小中学校の現状と委員会の体制、学校再編に関わる協議・検討事項等について説明し、保護者・地域の意見を聞くために説明会を開催することになりました。

保護者説明会（R5.12.19）富浦中学校体育館 参加者 82名

保護者の参加者から学校再編に対する否定意見は出ませんでした。今後のスケジュール、再編後の中学校の位置やスクールバスなどについての御心配・御質問が主に出ました。詳細については今後協議・検討していくと説明しました。

地区説明会（R6.1.24）富浦中学校体育館 参加者 18名

参加された方の中から、子どもがいなくなるのは寂しいとの意見もありましたが、今後とも、子供の将来を考え、どのような学校生活を送ることが子どものために大切な

か、保護者や地域の皆様と慎重に協議・検討しながら進めていきたいと説明しました。

第2回会議（R6.2.14）南房総市役所大会議室

保護者説明会・地区説明会の概要を確認しながら協議を行いました。富浦中学校と富山中学校を統合する案を市から提案しましたが、三芳地区との再編について委員から言及があり、事務局で三芳地区PTAの意見を確認することになりました。

【令和6年度】

第3回会議（R6.6.14）南房総市役所大会議室

新年度になり、富浦地区のこれまでの検討状況について振り返りを行いました。

その他、事務局再編案についてと、三芳地区では現時点では学校統合しないことが確認されたことを説明しました。検討するうえで保護者の意見を参考にしたいとして、PTA役員において意見のとりまとめを行うことになりました。

第4回会議（R6.10.29）南房総市役所大会議室

協議の中で保護者委員からの疑問点や不安な点が多く出たことから、PTA役員と事務局で意見交換する場を設けることとなりました。PTA役員において保護者対象のアンケートを実施することになりました。

第5回会議（R7.2.20）南房総市役所大会議室

保護者委員より保護者アンケートの結果報告がありました。

小学校：「統合に賛成」42、「今はその時期ではない」58、未回答21

中学校：「統合に賛成」33、「今はその時期ではない」38、未回答17

委員から、富山地区や三芳地区、嶺南地区まで含め、いろんな角度で再編を検討していったらどうかという意見もありました。

【令和7年度】

第6回会議（R7.6.23）南房総市役所大会議室

新年度になり、富浦地区の生徒数推移やこれまでの検討状況について振り返りをしました。三芳地区を含む3地区の統合については、教室数が不足することを説明しました。

保護者委員から、今回の会議資料を再度保護者に提示し、意見を募りたいとの要請があり、PTA主催の保護者説明会を開催することになりました。

PTA主催保護者説明会 (R7.7.24) 富浦中学校体育館 参加者 約70名

PTA主催の保護者説明会を開催し、教育委員会は説明者として出席しました。

説明会の後、PTA役員において、富浦・富山中学校の統合について意見を募る「自由意見調査」と、2校の統合について賛否を問うアンケートを実施しました。

第7回会議 (R8.1.7) とみうら元気倶楽部

保護者委員から、小中学校保護者に行ったアンケート結果の報告がありました。

富浦中学校・富山中学校の2校の統合について、

「賛成」92 ・ 「反対」109

であったことから、反対多数として検討委員会の解散を求めるとの発言がありました。

また、これ以上の意見集約は困難とし、教育委員会において自由意見調査の内容を精査してほしいとのことでした。検討委員会としては、再編の方向性について結論を保留し、地区説明会を開催することになりました。

保護者説明会 (R8.3.12) 富浦中学校体育館 参加者21名

説明会では、富浦中学校の再編について結論を保留した経緯と、保護者アンケートの結果及び、自由意見調査の内容について教育委員会で精査した内容を説明し、質疑応答を行いました。

学校再編に関する協議の今後のスケジュール感や、検討が長引くことで三芳地区の統合を考える時期になるのではないかなどの質疑がありました。統合する場合は校長などの一人職の人事の都合もあり、段階的に行っていく必要性について説明しました。

地区説明会 (R8.3.13) 富浦中学校体育館 参加者6名

学校の統合について、子どもに対しアンケートをとって欲しいという意見がありました。保護者が子どもの意見を聞き、その内容を保護者の中で協議して意見をまとめていただきたいと回答しました。

第8回会議（R3.3.26）とみうら元気倶楽部

説明会の振り返りと、教育委員会で精査した自由意見調査の結果をもとに、今後の検討委員会について協議しました。

保護者委員から、協議を続けるには、三芳地区を含む3校のデータなどの提示が必要との意見がありました。次年度の検討委員会において教育委員会から資料を提示することとし、協議を継続することになりました。

3 富浦地区保護者の主な意見

- 統合して生徒数が増えることのメリットは、教育環境の観点から良い。
- 災害時・警報時の通学路の安全性への不安。学校の場所が富山地区になった場合、送り迎えの負担増への抵抗感。
- 学校の位置と、通学に関する具体的な内容を含め判断したい。
- 2校の統合では数年後に現在の人数規模に戻ってしまうため、統合するメリットが少ない。
- 2校の統合では、次の統合が短期間のうちに行われる懸念がある。
- 統合の恩恵を長く維持できるよう、三芳地区を含む3校で統合すべき。

4 学校再編に関しての前提事項

- 南房総市では、通学距離 15km 程度、通学時間 30 分程度の範囲であれば 統合は可能という判断のもと、その範囲内での学校再編を提案しています。
- 学校の位置・名称・開校時期は、統合する相手地区と共に検討します（合同会議）。その前に、各地区において、統合に向けて協議を進めていくかどうかを検討していただいています。
- スクールバスのルートや停留所・時間などは、学校の位置が決定したら、保護者を委員に含む専門部会を立ち上げ、検討します。
- まずは、子どもたちの人数、教育環境に焦点を当てて検討し、統合に向かう場合には、付随する様々な課題の解消に取り組むという順序で整理していくことをイメージしています。